

2024年 第35週（8月26日～9月1日）の感染症発生動向調査情報

<今週の内容>

- 1 新型コロナウイルス感染症について
- 2 管内の感染症発生状況（新型コロナ以外のもの）

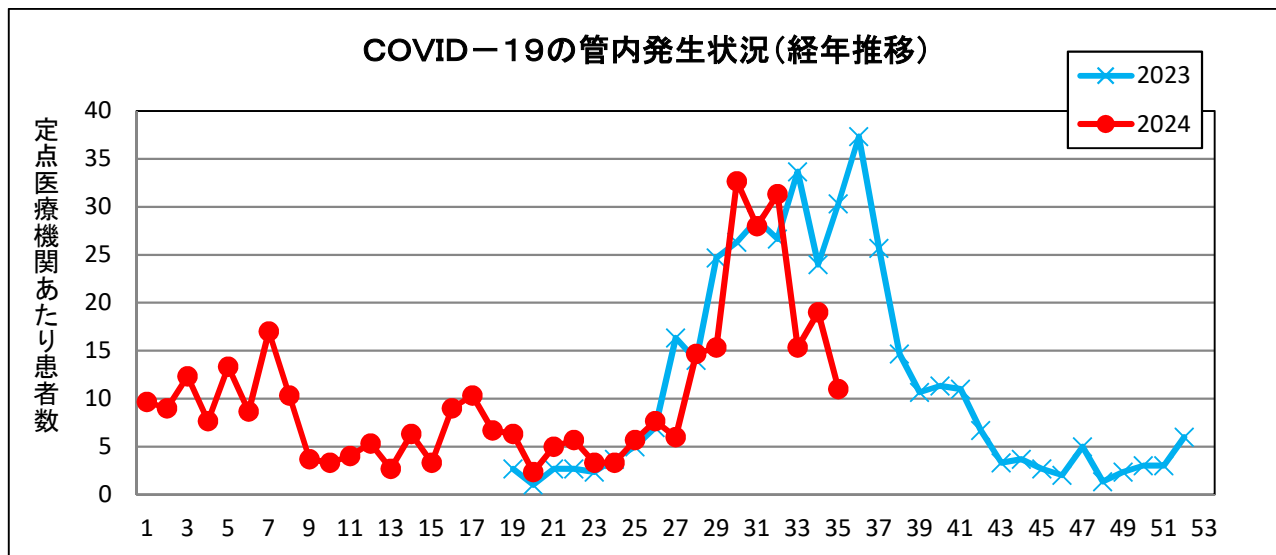
咽頭結膜熱及び手足口病が流行レベル基準値を超え、警報レベルとなりました。

1 新型コロナウイルス感染症について

管内では、定点あたり報告数は今週11.00人（先週19.00人）で先週から減少し、兵庫県内の定点あたり報告数も今週5.35人（先週7.04人）となり、先週から減少しました。地域別では、福崎保健所管内が18.50人と最も多く、当所管内11.00人、赤穂保健所管内10.50人となっており、年齢別では、70歳代が12%と最も多く、次いで1～4歳、10歳代及び80歳以上が11%となっています。

また、県内の社会福祉施設等においては、当所管内分1件を含め、今週15件（先週12件）の集団発生が報告されています。

県民の皆様には引き続き3密の回避、手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用といった基本的な感染症対策をお願いします。



注) 2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症は定点把握になりました。

<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)に関する情報](#)

[兵庫県感染症情報センター](#)

◆厚生労働省ホームページ

[新型コロナウイルス感染症について](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[新型コロナウイルス\(COVID-19\)関連情報ページ](#)

2 管内の感染症発生状況（新型コロナ以外のもの）

(1) 管内の全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症）

第35週は、報告はありませんでした。

(2) 定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）

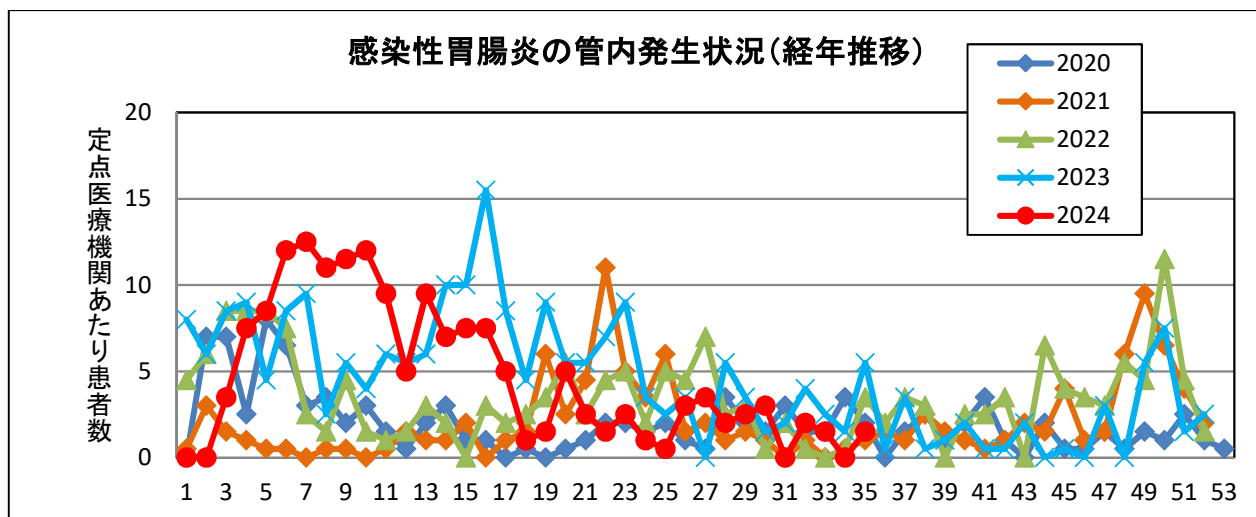
(2024年35週) ※定当：定点あたり患者数

インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		COVID-19	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
-	-	-	-	12	6	-	-	3	1.5	-	-	10	5	1	0.5	-	-	33	11

ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎4(ロタウイルス)	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

管内では、感染性胃腸炎の定点あたり患者数が1.50人で、先週（0人）から増加し、兵庫県でも3.36人で、先週（3.22人）から増加しました。

トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗うようにしてください。また、便や嘔吐物を処理する際は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗ってください。カキなどの二枚貝を調理する際は、中心部まで十分に加熱してください。



<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[感染性胃腸炎\(ノロウイルス等\)について](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[感染性胃腸炎とは](#)

また、管内の咽頭結膜熱の定点あたり患者数は6.00人で、先週（0人）から急増し、流行レベル基準値（3.00人）を越えたため、警報レベルとなりました。兵庫県では0.38人で、先週（0.29人）から増加しました。咽頭結膜熱は通常夏期に流行し、多くは飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染であり、結膜あるいは上気道からの感染により拡大します。流行時には、流水とせっけんによる手洗い、うがいを励行し、タオルは別に使うなど、感染者との密接な接触を避けるようにしましょう。

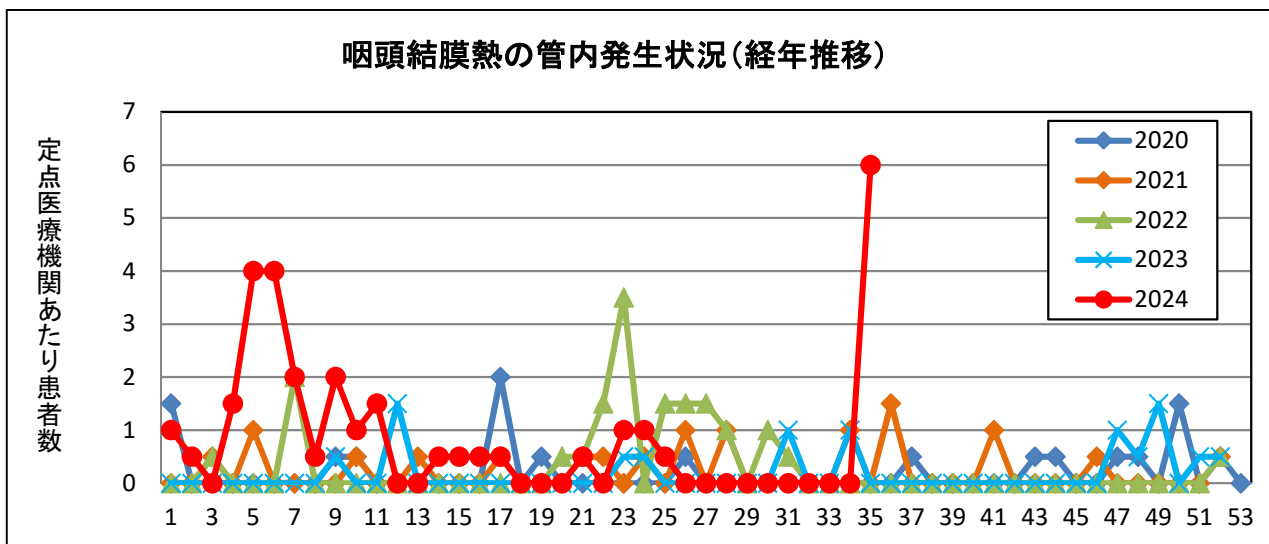
<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

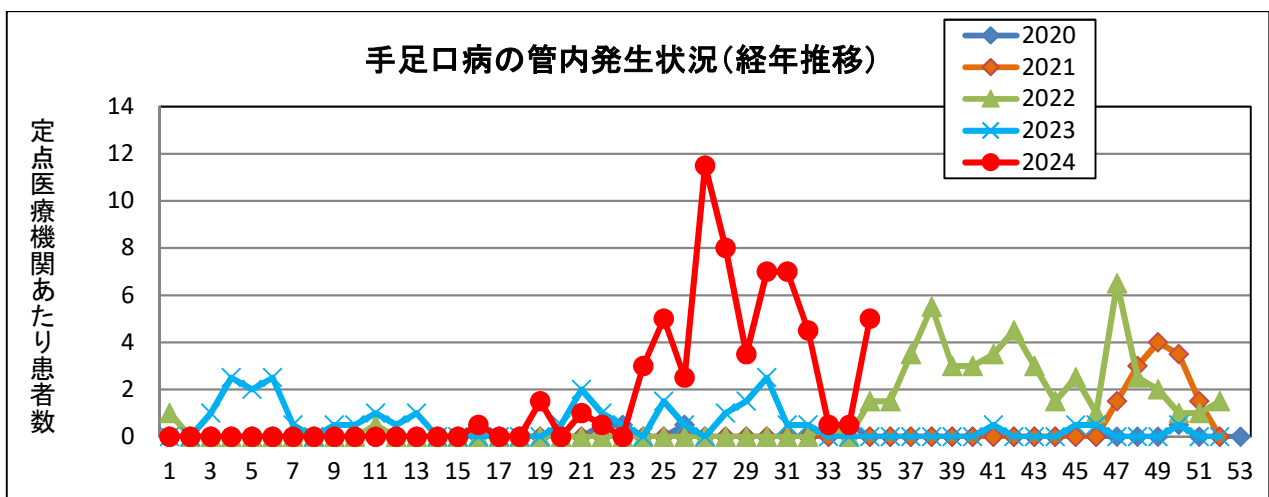
[咽頭結膜熱\(プール熱\)の流行に注意してください](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[咽頭結膜熱とは](#)



また、管内の手足口病の定点あたり患者数は 5.00 人で、先週 (0.50 人) から急増し、流行レベル基準値 (5.00 人) を越えたため、警報レベルとなりました。兵庫県では 5.73 人で、先週 (3.65 人) から増加しました。手足口病は、手のひら、足の裏、口の中、おしりなどに米粒大の小さなもりあがった発疹が見られます (1週間程度で治ります)。ときには手や足の甲にも出ることがあります。よだれも増え、37～38℃の発熱が1～3日程度続くことがあります。手足口病のウイルスは、おもに便や鼻汁などの分泌物のなかにおり、手を介して口に入ることで感染するので、用便の後などはきちんと手洗いをすることが大切です。



<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[夏の感染症にご注意を!](#)

◆厚生労働省ホームページ

[手足口病に関する Q&A](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[手足口病とは](#)